



2歳頃(昭和46年頃)の徳永氏



リーダーと語る

聞き手：今治冠婚葬祭互助会  
青野 淳一

今治市長  
とくなが しげき  
徳永 繁樹氏

徳永 繁樹氏プロフィール  
愛媛県今治市出身。昭和44年11月10日生まれ。  
今治西高等学校卒業、京都産業大学卒業。  
好きな言葉は「陰涼」(涼やかな木陰を与えてくれる大樹の意)。

**青野** 同じ今治でも地域によってお祭りや行事もさまざまですね。小さい頃はどんな子でしたか？  
**徳永** 牛乳を毎日2リットル飲んでいました(笑)。亡くなった母が、大きくなるようにと考えてくれたんでしょうね。おかげで身長は178センチにまでなりました。足のサイズは24・5センチと小さいですが。  
**青野** 野球少年だったんですね。野球を始めたのはいつ頃ですか？  
**徳永** 小学生からです。高校でも甲子園を目指して野球部に入りましたが、途中で辞めてしまいました。その苦い経験は、今も僕にとって特別なもの。教訓として生きています。自ら望んで志したことは、自分の都合では決してあきらめない。この世界も同じですが、政治の世界も孤独

を感じることもありますが、がんばらなければと、また奮起することが出来ます。

ふるさと今治の皆さんに  
喜んでもらえることが幸せ

**青野** 政治家になろうと思ったのはいつ頃ですか？何かきっかけがあったのでしょうか。  
**徳永** 30代で今治青年会議所に入っただけです。そこでたくさんの人と出会ったことが大きかった。県外から故郷に戻り、友達を増やしたくて入



3歳頃(昭和47年頃)の青野

令和3(2021)年2月に今治市長に就任し、新たな船出をした今治市の舵をとる徳永繁樹氏に、熱い思いを語っていただきました。「しなみの杜リゾート」の緑の中で風を感じながら、旧知の仲の気安さもあり、リラックスした表情で、思い出話や市政への胸の内も飾ることなく話してくださいました。

少年時代の自分自身が  
今の自分を奮い立たせる

**青野** ともに今治出身で同い年の僕らです。今日は少年時代のことなども話してみたいと思います。お生まれは今治のどのあたりでしたか？  
**徳永** 桜井の海の近く、唐子浜の少し網敷天満宮寄りです。  
**青野** 昔は「唐子浜パーク」がありましたね。

**徳永** 家族や地域の人みんなで出かける定番の場所でしたよね。今は遊びも複雑多様化、高度化していて、子どもは家で一人で遊ぶ時代。制限も多くなんだかかわいそうな気がします。昔はあちらこちらで地域ぐるみで子どもたちを守ったり育てたりしていました。  
**青野** 近所のおじさんやおばさんに叱られたりもしましたね。夏の夜店もにぎやかで楽しかったな。



**徳永** 僕は商店街の夜店よりも、夏の思い出といえば、地元桜井の「宮島さん」。出店もたくさん出て華やかでした。広島島の厳島神社の分社がある網敷天満宮の行事です。7歳までの男の子の成長を祝って、旧暦の6月17日(概ね新暦7月・8月)にわら舟を作って広島島の宮島へ向けて海に流すんです。今も続く伝統行事で、とても思い入れがあります。



ら本音を話せない。そんな声を多く聞いて、それなら自分がやってみよう、新しい風を吹かせてみようと思ったのです。  
**青野** スタートは愛媛県議会議員からでしたね。

**徳永** 出馬の際には政治経験もなく、厳しいご意見もいただきましたが、なんとか当選しました。でもそれらが大変でした。議員になることが目的ではありませんから。仲間や家族、近所の人たちが疑問に思うことを一つ一つでもいいから解消しようと地道に活動を続けていると、「ありがとう」と言ってもらえるようになります。それを幸せに感じ始めました。だからいつも「お困りのことはないですか」と、自分から探しに行っていました。



**青野** 当社は「あなたが幸せでありま  
すように、そして、それが私たちの  
幸せでありますように」という企業理  
念を掲げています。今のお話にとても  
共感できます。

**徳永** 大切な人や地域の方々を幸せに  
したいというのが、僕の政治家として  
の原点です。今度は市長として、「市  
民が真ん中」の視点で市民の役に立つ  
市役所の運営をしていきます。時代  
が厳しくなれば苦しいことも出てき  
ますが、それも受け止めてしっかりと議  
論して、誰もが声を上げられる世の中  
にしたいです。

## 「新しい風」を吹かせて

### あきらめないで、絶えず前へ

**青野** 新市長の誕生を、ご自身はどう  
捉えていますか？

**徳永** 今回の市長就任をテレビ番組に  
例えるなら、キャスターの交代ではな  
く、番組そのものの入れ替えだと考え  
ています。今の時代、これからの時代  
にふさわしい番組を、市民の皆さんに  
お届けしたい。それが「未来への新しい  
風」です。やるべきことは、新しい風を  
どんどん吹かせること。僕たちが今い  
るこの「しまなみの杜リゾート」も、こ



れまでの今治にはなかった、いわば「新  
しい風」です。僕らの思いはきっと同じ  
なんですよ。これまでになく取り組み  
で、1+1が3にも5にもなるような  
仕掛けをして、市民の皆さんと一緒に  
なつて今治を変えていきたいです。

**青野** そのためにどんな構想がありま  
すか？

**徳永** あちこちの市長さんが僕に「い  
い所の市長になったね」と言ってくれ  
ました。今治には海や島があり、橋が

架かり、陸地に豊かな自然があり、  
サッカーチームもあり、コンパクトな  
旧来の町もある。こんないい所はあり  
ません。これを生かさない手はありません。  
地域の成長には、立地の有効性  
がとて大きく影響します。そこで、  
明日の、未来の今治市の発展の道筋  
となるのが「瀬戸内クロスポイント構  
想」です。今治は瀬戸内海の「へそ」に  
位置しています。今治ICから今治  
湯ノ浦ICまでの10・3キロに高速  
道路が開通すれば、全国のどこから  
でも今治にスムーズに来られるよう  
になります。この立地の良さに着目して  
人や経済を集積させるのです。また、  
今治は「海事都市」と言われています  
が、ぶどうの房を一つ、また一つと増や  
していくように、さらなる今治の個性  
と魅力を増やすことが大事だと考え  
ています。

**青野** 思いを実現するためには、お互  
い組織のリーダーとして考えるべきこ  
ともありますね。一緒に働く人たちに  
同じ気持ちを持たせることです。当  
社では「礼儀・思いやり・掃除」を徹底  
する教育をずっと続けていて、根本に  
あるのは相手を思いやる心です。同じ  
気持ちの人が集まればきつと問題は  
解決するでしょう。市の職員へはどん  
なアプローチを考えていますか？



**徳永** 職員も僕と同じように「市民が  
真ん中」の視点に立ち、市民がありが  
とうと言ってもらえる幸せを感じられ  
れば、能動的に動くことができるはず  
です。大きな組織の長になった僕が、  
全職員の気持ちを前向きにもってい  
かなければなりません。わかりやすい  
発信で、持ち前の粘り腰で、あきらめ  
ずに進んでいこうと思います。学びと  
気付きを繰り返すことが土壌になり  
ます。一人ひとりがそれぞれの現場で  
風を吹かせ、化学反応を起こすこと  
を、市民の皆さんが期待し見ているの  
ですから。あきらめたら終わり。絶え  
ず前進です。

**青野** これからもとても楽しみです。  
一緒に前進を続けましょう。



「双方の思いが合致して初めて永遠の愛を誓うのは、恋愛も政治も同じ」と徳永市長。市政と市民が相思相愛の今治市へ

